

～水平ラインの活用方法～

今回のレポートでは水平ラインの引き方や活用方法についてご紹介していきます。

皆さんはどういったラインを引いていますか？

ラインにも種類はたくさん存在しています。例えば、トレンドラインやチャネルラインなどです。

恐らくトレンドラインやチャネルラインはかなり多くの方が注目して見ていることと思います。

このラインにも負けず劣らずなものが水平ラインです。

トレンドライン、チャネルライン、水平ラインこれを使いこなすことができればある程度の状況に対応できるんじゃないかなと思っています。

ラインの引き方は人それぞれ違うと思います。

ここで大前提としてどういった考えでトレードしていく必要があるのかをご紹介します。

FXは多くの個人投資家が参加しています。最近ではどんどんAIや自動売買ソフトも増えているので機械的にトレードされることが多いです。

多くの方が参考にしているということは、それだけ多くの方が同じような目線で相場を見ているということです。

ということは、必然的にエントリーも偏ってきます。

そして実際にそのポイントで反転するということが多々あります。

なので、大前提として多くの方が注目しているポイントは絶対に抑えておく必要があります。

私は水平ラインでは3パターンほど使い分けています。

- ・ 高値と安値から引く水平ライン
- ・ キリの良い価格から引くライン
- ・ 反発の目安のライン

いくつか使い分けて引くだけ引いておくとなんかのトレードの参考にしやすくなります。

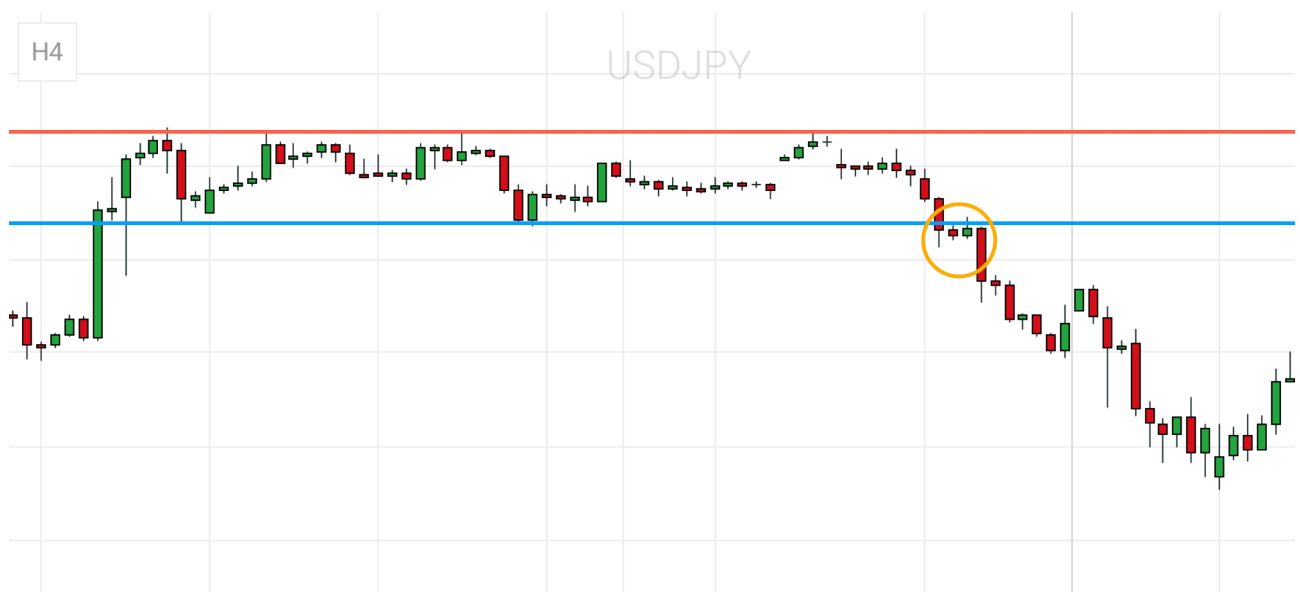
色を変えて引いてみたりしてもいいかもしれません。

私の勝手な手法ですがわりとトレードには役立っています。

< 高値と安値から引くライン >

レンジ相場では高値と安値は非常に重要になってきます。

何度も同じポイントで反発し同じような動きをしてくれることが多いのでトレードの参考になります。



このオレンジ色のラインが高値から引いたラインです。

実際このオレンジ色のラインで4回跳ね返されており、完璧なショートエントリーのポイントになっています。

結果論ですが、このラインを信じて4回ショートしていれば4回勝てましたね♡

このレンジ相場として見た上下のラインの間での上昇、下落を狙ってトレードしていく方法と

ラインから上方向か下方向へ抜けていくタイミングを狙って順張りでエントリーしていく方法です。

上記のチャートでいうと黄色の○のところがそのタイミングになります。

黄色の○のところで下抜けているので、ここから大きく動いてくれるかなという期待のもと

ショートエントリーして順張りで流れについていき利益を狙っていくということです。

今まで均衡していたものが崩れたということで流れが一気に傾く傾向があるので

私はこの方法でトレードしています。

レンジ相場になるということは、ロングしたい人とショートしたい人が均衡していることで発生します。

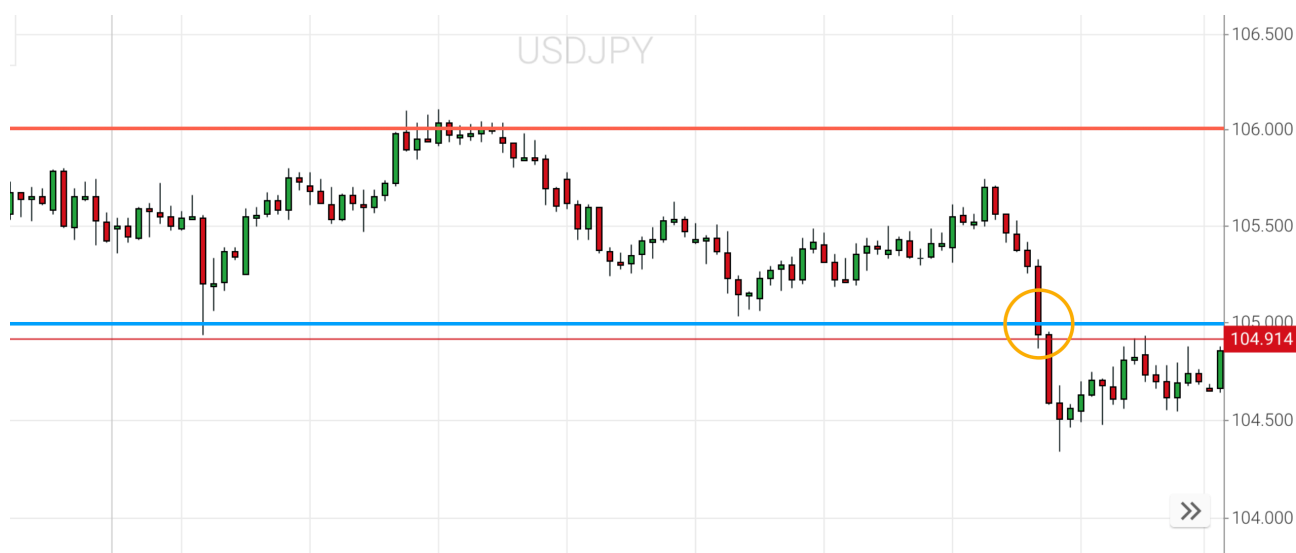
上記のチャートの場合では、少しずつショートしたい人の圧力が強くなっていき

最終的にショート圧力が勝って一気に下落していったということになります。

なぜレンジ相場になるのか自分なりに考えて理論づけていくことが必要になってきますね。

< キリの良い価格から引くライン >

キリの良い価格から引くということはその言葉通り1円刻みや50銭刻みの価格からラインを引いておくということです。



このチャートではオレンジ色のラインが106円のところから引いたラインです。

そして青色のラインが105円から引いたラインです。

このようにその時々で相場で可能性がある値幅にあるキリの良い価格からラインを引いておくと

その付近で上昇が止まって揉み合ったり、反発してりすることもあります。

相場に絶対はないので1つの参考には過ぎませんが、引いておくのと引いておかないのでは

全く違うと思うので、引くだけ引いておくといいかもしれませんよ。

そして狙いとしては先ほどのレンジ相場と狙い方としては似ています。

青色のラインで言うのであれば、反発するのであればロング、下抜けていくのであれば

ショートというように狙いを持って相場を見ていきます。

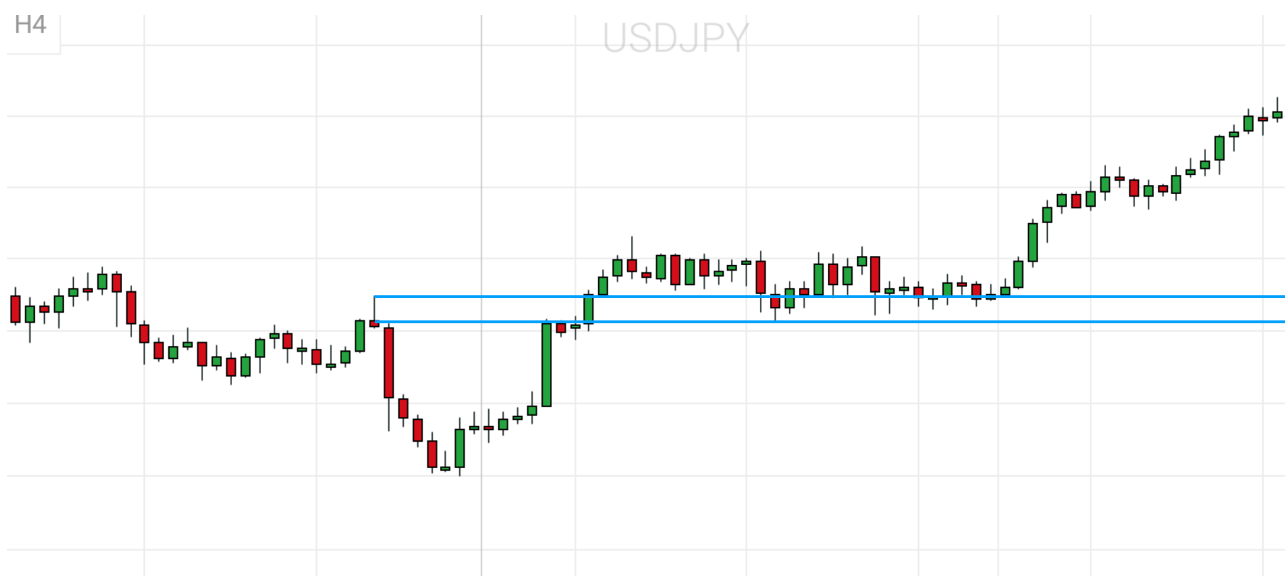
引くだけ引いてみてください。

いくつか参考になりそうば水平ラインを引いて相場を見ていくと少し違った視点から相場を見ることができるかもしれませんね。

< 反発の目安のライン >

反発の目安のラインというのは、もしかしたら反発するかもしれないと思うラインを事前引いておくということです。

過去の経験からこういうところで反発することが多いなというところから引くようにしています。



この青色のラインは、1つの山の天井から引いたものです。

ラインの引き方としては実体から引く人もいれば、ローソク足のひげから引く人もいます。

どちらとも引いておけばその付近という見方もできるのでいいかもしれませんね。

一度下げてから、1つ前の高値を超えた以降は1つ前の高値が下落の目安になります。

なので、このように水平ラインを引いておくことで調整局面での下落の目安になります。

上記のチャートのように実際にそのライン付近で反発してくれたりすることがあります。

このように下落の目安として事前引いておくともしかしたらここで反発する可能性もあるなど
いうように見ていくことができます。

トレードの狙いを立てやすくなりますね！

このような3パターンで水平ラインは使い分けています。

それぞれの水平ラインを引いておくトレードの参考にもなりますし

今までのトレードより別視点から見ることもできるかもしれませんね。

{著作権について}

こちらのレポートを開封いただいた時点で下記に書かせていただいている事に同意いただいた事になります。宜しくお願い致します。

著作権者の許可なくレポートの一部または全部をどこかに転載、どこかに公開する事、
譲渡、転売する事を禁じます。

この著作権は、「みなみのFXトレード」の管理人に属します。

このレポートに書かれている情報は作成時の著者の見解です。著者は事前に予告なしに訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。誤り、不正確な情報等が含まれている可能性があります。

レポートを利用することで結果的に損をしてしまった場合につきましても著者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

決して投資勧誘を促したものではありません。投資を行う際は、かかってくるリスクを十分に考慮の上、投資の運用は自己判断・自己責任で行ってください。